

## 地方自治法施行 60 周年記念貨幣(長崎県)の表面図柄の説明

### ①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

#### 『大浦天主堂と椿』



○大浦天主堂と椿をデザインしています。

※大浦天主堂：1864年(元治元年)に建設された洋風建物で、現存する国内最古の教会として、国宝に指定されている。また、16世紀から19世紀半ばまでの厳しいキリシタン禁制の中で、約250年間信仰を守り伝えてきたキリシタンが信仰を告白した、世界宗教史上の奇跡と言われる「信徒発見」の歴史的舞台でもある。2015年(平成27年)に世界遺産登録向けユネスコへの推薦が決定した「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産の一つである。

※椿：長崎県の花木であり、県のシンボルとして多くの人々に親しまれている。特に五島列島には広く天然のヤブ椿が生育しており、椿油の生産量は国内トップクラスである。

### ②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

#### 『大浦天主堂とステンドグラス』



○大浦天主堂とステンドグラスをデザインしています。

※ステンドグラス：大浦天主堂の主祭壇側方高窓のステンドグラス。枠内の上部にバラ窓風の大きな円、下部に全体とほぼ相似形の尖塔アーチ形2連を内接させた図形を基本とし、その中にさらに細かい棧を割り付け、色違いのガラスが嵌め込まれている。